匠の風

長崎工業高校育友会だより

発　行
長崎県立長崎工業
高等学校育友会
住　所
長崎市岩屋町41-22
(095)856-0115

祝 卒業 新たなステージへ

未来を生きる

育友会会長　野口 富士男

３年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから新たなステージに進む皆さんに向けて、未来を生きるコツを少し。

その１。自分を信じましょう。長工で培った知識や技術は、将来を切り拓くための強い基盤です。自分の能力や可能性を信じて新たに挑戦しよう。果敢にチャレンジ！

その２。柔らかく生きましょう。今の社会は変化が大きく、未来の仕事や環境は予測しにくいです。これまでに培った問題解決能力や創造性を生かし、しなやかに生きてください。

その３。学び続けましょう。世の中は日々進歩しています。自己啓発のための投資を惜しまず、周囲との交流を大切に、他の分野の知識や経験も積極的に吸収しましょう。

その４。勇気を持ちましょう。未来の道は必ずしも順風満帆ではないです。でも、前向きな気持ち、姿勢で困難に立ち向かい、前に進んでくれることを願います。諦めたら試合終了です。何度でも、何度でも挑み、自分の本当の意味の幸せを見つけてください。

その５。自分を大切にしましょう。身体も心も健康であることは自分を前へと動かすエンジンです。自分自身を労わりながら日々を過ごしましょう。

最後になりますが、卒業生の保護者皆様にはこれまでの育友会活動へのご支援、ご協力ありがとうございました。また、日頃から熱心にご指導いただいている先生方へも心より感謝申し上げます。

育友会活動を振り返って

①３年間で一番、思い出にのこっていること
②育友会活動を振り返って

役員の方々

副会長　インテリア科　近藤　千里

①先輩保護者の方々の長崎工業高校への思いの強さに驚かされました。しかし、長男が吹奏楽部に入部した事で、応援に行く程に「もってこーい　もってこーい」「長工ファイトー」何回言ったかな、おかげで今、自分自身　自信をもって言える事は、長崎工業高校が大好きです。

②３年に１度の文化祭の拡大版、２日間行われる工業展。育友会バザーの飲食ブースで誘導の担当でした。「いらっしゃいませ！　何にしましょう！」何回、何人に話しかけたか覚えていません。先生、生徒さん達、保護者の方々と、とても楽しい時間でした。また、企画広報担当委員長として、すばらしいメンバーと活動できました。チームワーク最強です。　野口会長をはじめとする役員、理事の皆様の優しさに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

会計

機械科　林田　留里子

①コロナ禍で１，２年生の頃は、体育祭を映像で見ましたが、やっと３年生最後の体育祭を実際に見れた事が一番の思い出に残っています。「工業高校の体育祭はすごい」と噂には聞いていましたが、想像を遥かに超える子供達の全力さに大変感動しました。各科の団結力や子供達と先生方の関係性から工業高校の良さを更に感じることができました。

②息子に背中を押されて引き受けさせて頂いた役員ですが、あっという間の３年間でした。役員として学校行事に携わらせていただくことで共通の話題で息子との距離を近く感じることができ、とても幸せでした。担当の先生や役員のみなさんが優しく、楽しい方々ばかりで、一緒に役員活動をできて本当によかったと思います。ありがとうございました。

学級理事のみなさん

機械科　久保　多華子

①コロナが収束し、最初で最後の体育祭が一番の思い出です。子供の成長を

努力や苦労を惜しまない　生き方を

校長　北島　弘明

三年生の保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。三年間に渡り、本校の教育活動について、ご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。心身ともに逞しく成長したお子様の姿を見られると、感慨深いことと拝察いたします。

昨年の５月８日以降は、新型コロナウイルスが５類相当に移行し、徐々に通常の学校生活を送ることができました。特に体育祭や工業展が制限なく開催できたことは良かったと思います。

４月からは、就職や進学など、それぞれの道に進みますが「努力や苦労を惜しまない」ということを忘れないでください。目の前の一つひとつに真摯に向き合い、精一杯の努力をする。努力や苦労は自分を成長させてくれます。そのように日々過ごすことが、充実し、そして満足できる人生に繋がっていきます。自分を信じて努力し、後悔のない判断をさまざまな場面でしてください。

学校目標の「長工で人生を生き抜く全ての力を身につける」。卒業してから成果が試されることになります。これから、知らないことや新たな場面に次々と直面するでしょう。長工で身につけた「生き抜く力」でそれらに対応し、自分らしい人生を生きてください。

最後に、卒業生の全員が変化の激しい社会を力強く、そして自分らしく生きていくことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

▲校訓碑
「技術の真髄をつかめ」

電気科　内田　忠宏

①コロナ禍真最中で１年生の時をすごし２年生の時に少し解除され体育祭や文化祭を制限がある中ではありましたが行えた事、３年生の時は、制限を解除し体育祭ではたくさんの大きな声で校歌を歌っている姿に感動し、工業祭（３年に一度）を育友会と先生、生徒、保護者の

機械システム科　坂井　直美

①高総体です。保護者のみなさんと男子バレーの応援に行き、子供達の成長を肌で感じ、試合の写真、集合写真などを撮る親子の記念写真やたくさんの事ができた事です。

②広報紙の写真選びをする中で、長工生の活躍に感動し、私自身、役員の方々とも楽しく活動できました。先生方役員、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

工業化学科　下窄　恵理子

①制限があった１年生の頃とほぼ制限がなくなった３年生で行事もですが、日々の生活も含め変化の３年間だったと思います。その変化の中を過ごした３年間が思い出になってます。

②数年前のような文化祭が開催され嬉しく思いました。色々な滑動があり、毎回、子供達から学ぶことが多かったです。ありがとうございました。

建築科　渡辺　由美子

①３年生の時に初めて見ることが出来た体育祭です。どの競技も全力で楽しませてもらいました。それとアンサンブルコンテストです。

②私は、１年生と３年生の２年間育友会活動をしました。工業展での食品販売は大変でしたが、お話をしながら楽しく活動できました。

インテリア科　坪川　律子

①最後の１年間は、コロナ以前の日常が戻り、本来の長崎工業高校の体育祭や文化祭を経験させていただき、その規模に圧倒されました。我が子の一番の思い出は、最後の吹奏楽部の定期演奏会です。超初心者だった娘は、うまくいかない事の方が多かったろうと思います。大勢の方々の前で演奏し歌う姿に彼女の努力を感じ、とても感動しました。３年間のこれまでを通して、少しでも役に立てればと思い活動に関わらせて頂きました。なかでも生徒自分が出来る範囲のお役に立てればと思い活動に関わらせて頂きました。なかでも生徒の皆さんとの意見交換会は大変有意義で、長工生の皆さんはしっかりしていると感心させられました。私の方が勉強させられた思いです。また、様々な活動を通して育友会本部の皆様には大変お世話になっているのだと感じました。３年間、親子共々お世話になりました。ありがとうございました。

電子工学科　廣田　修治

文化祭や工業展の見学でどういう事を学んでいるかを知れた事。子供達が行事を楽しんでいる姿を見れた事。理事会への参加は仕事との調整がうまくいかない事もあったけど、自分が思っていたより参加する事ができたと思います。生徒との懇談会への参加は貴重な経験ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

情報技術科　塚本　まゆみ

①大盛況での工業展、最初で最後３年に１度の工業展に参加することができ久しぶりにワクワクした気持ちになりました。ステージや教室、校内での子供たちの躍動感あふれ、団結力ある姿を生で見ることができました。復活した食品バザーでは、うどんやカレーを食べる子供たちの笑顔が見えました。その裏で卒業生の保護者さん、元役員さん等、色々な方のご協力があり伝統が繋がっていることに感謝です。

“長工魂”

②３年間　学級理事にて育友会活動に携わることができありがとうございました。入学してから１，２年生と行事の中止と活動の自粛が続く中でしたが教育委員会として文化祭での物品バザー、工業展での物品バザー、食品バザーに参加することができ、とても楽しかったです。教育視察は、視点を変え「教育視察ｉｎ長工」と校内に変更し一緒に参加し各科の教室や実習等を見ることができました。理事会や委員会活動、この３年間で子供と共に成長させていただきました。